



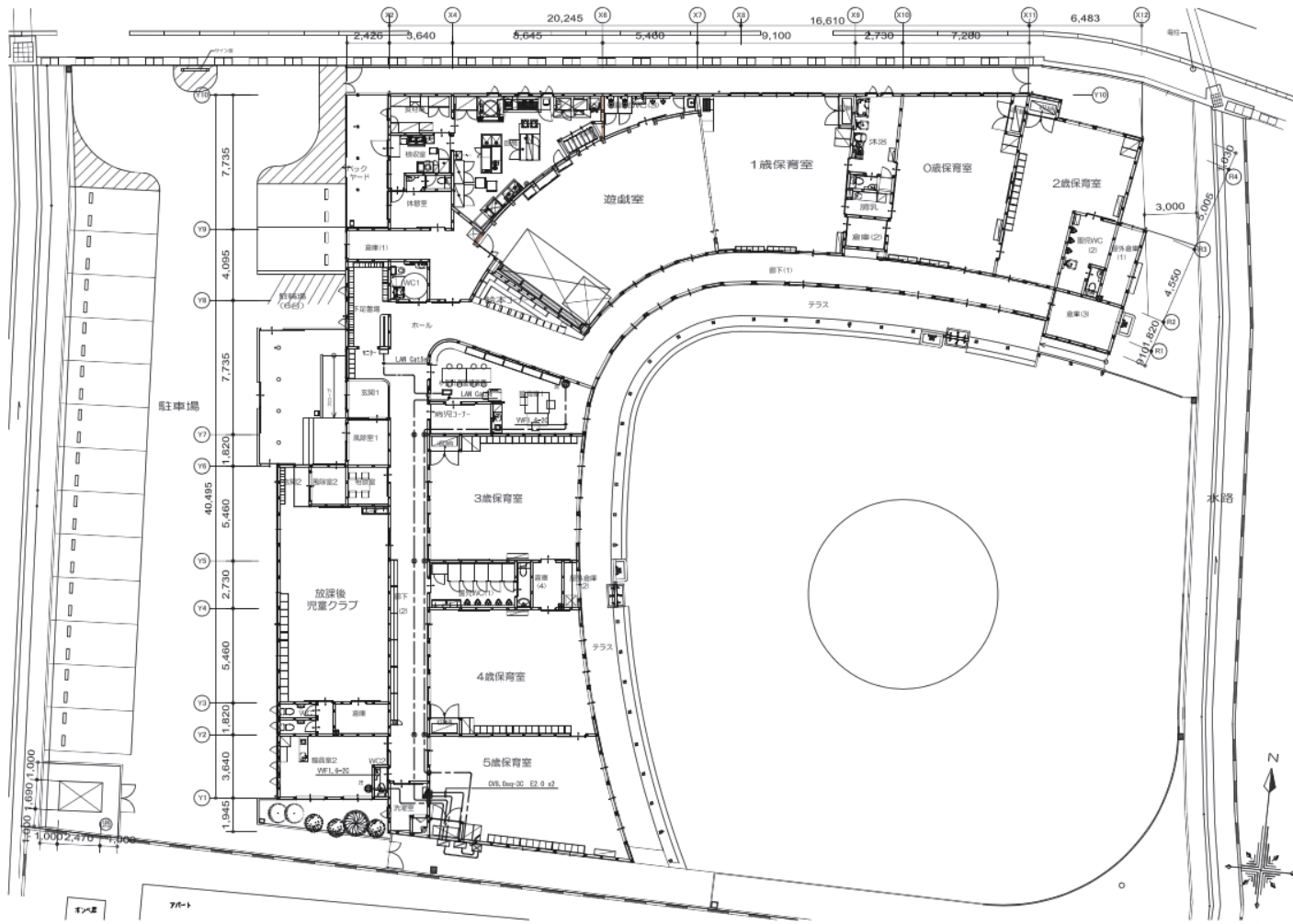
建築概要

事業主	社会福祉法人新川児童福祉会	設計監理	株式会社 時設計	施工	建築 タカハタ工業株式会社
事業所	かみいいの認定こども園		〒103-0004	電気 株式会社 五葉商事	
	〒930-0827		東京都中央区東日本橋3-12-11アヅマビル	設備 株式会社 ユーテック	
	富山県富山市上飯野19-2	基本設計	令和3年1月31日～令和3年3月31日	工事期間	令和3年7月～令和4年3月
	tel. 0765 (32) 3071	実施設計	令和3年4月19日～令和3年6月8日	定員	145人 / 職員数 25人
				敷地面積	3,230.18㎡
				延床面積	1,095.71㎡
				建築面積	1225.03㎡



幼保連携型認定こども園

かみいいの
認定こども園



いつでもおかえりと感じれるようなこども園

地元に戻るとおかえりと言って迎えてくれる感覚
こども園でも同じように園児が成長してもそういう施設であって欲しい



デザインの考え方

外観について

シンボル性のあるオブジェではなく実家のように周囲の環境に馴染む外観を目指しました。

外部の壁は地域の建築に近いグレー色とし、中に入ると反転した白が印象に残ります。

園庭へと繋がる空間がいつまでも心に残るように。

年を重ねて劣化していくのではなく味になっていくように。

内装について

時を重ねることで味になっていくように床や壁は「木」をメインに構成することで手入れをしながら

いつまでも記憶が重なる素材。

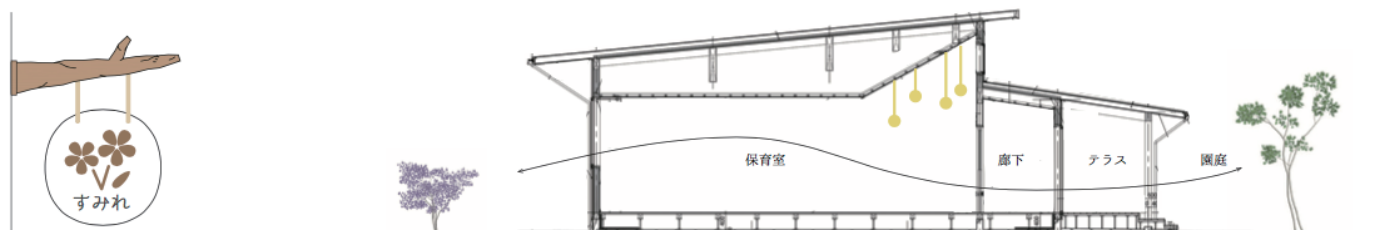
手作りの作品や窓から入る空間を主役とし、色ではなく素材で空間を引き立てる。

デザインのアクセントについて

保育室、廊下、テラス、園庭の一体感を意識した表情を考えました。

ペンダント照明やルーバーを設けることで高い吹き抜け空間をより活かします。

また、サインのひとつひとつは職人が削り出しておりどれも違った表情を見せます。



保育室・遊戯室仕上げの考え方

色を通じて子供たちの感性を刺激し、豊かな心を育む。もっと伝えたい色、もっと感じてみたい色。

感じることは知ることにつながり、子供たちの学びにもつながります。



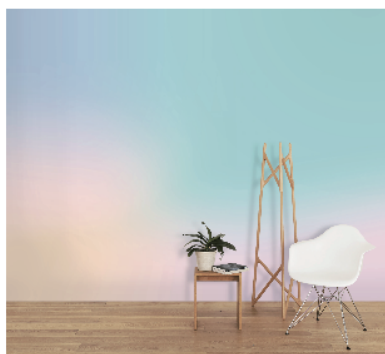
トイレの考え方

ちいさい頃、トイレの空間や流れる音が怖くて座ることもできませんでした。

トイレが楽しい場所になるように。

明るい気持ちにさせる。特定しない。イマジネーションができる。

建物の白を基本としながらいろんな気持ちに寄り添えるトイレとしました。



ホール・絵本コーナー



遊戯室



壁の素材は外部と視覚的に一体性を持たせるため廊下と室内を同様の壁紙とし、外壁との調和を考え塗装調の壁を採用致しました。模様や凹凸の少ない素材とすることでトップライトからの影を印象的に演出します。



乃村工藝社
文化環境事業部
デザイナー/一級建築士
古屋 友只

乃村工藝社内、福祉セグメント 医療セグメントに従事。
新築から内装の認可保育所や企業主導型保育所の設計を主軸に
新築設計、飲食店、美容院、オフィスなどの設計を行う。



乃村工藝社
文化環境事業部
営業1部1課 課長
松田 裕介

乃村工藝社内、福祉セグメント 医療セグメントを纏める。
医療・福祉の他に、PPP案件・テナント・プライダグル・展示会・博物館と守備範囲は広い。
2019 内閣府セミナー『建築士の為の企業主導型講座』講師
2021 乃村工藝社ソーシャルグッドウィーク 講師